令和４年度　公立学校教員採用候補者選考試験問題

音　　楽

注意　答はすべて解答用紙の解答欄に記入すること。

（放送による問題について）
・第２問題は放送による問題です。
・放送は試験開始 10 分後に始めます。

第１問題　次の指示に従い、Ⅰ、Ⅱのいずれかを解答せよ。

・中学校受験者は、Ⅰ［中学校学習指導要領に関する問題］を解答すること。
・高等学校受験者は、Ⅱ［高等学校学習指導要領に関する問題］を解答すること。
・特別支援学校受験者は、Ⅰ［中学校学習指導要領に関する問題］または、Ⅱ［高等学校学習指導要領に関する問題］のいずれかを選択して解答すること。

Ⅰ［中学校学習指導要領に関する問題］

問１　次の文は、中学校学習指導要領（平成 29 年告示）（以下「中学校指導要領」という）の一部である。後の（１）～（４）に答えよ。

「第２章 第５節 音楽 第１ 目標」

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）［ a ］と音楽の構造や［ b ］などとの関わり及び音楽の［ c ］について［ d ］するとともに、創意工夫を生かした［ e ］をするために必要な技能を身に付けるようにする。
（２）［ e ］を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
（３）音楽活動の［ f ］を体験することを通して、音楽を［ g ］する心情を育むとともに、音楽に対する［ h ］を豊かにし、①音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな［ i ］を培う。

「第２章 第５節 音楽 第２ 各学年の目標及び内容 第１学年・２内容 A表現」

A　表現
（１）歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア　歌唱表現に関わる知識や技能を②得たり生かしたりしながら、③歌唱表現を創意工夫すること。
イ　次の（ア）及び（イ）について理解すること。
（ア）［ a ］と音楽の構造や［ j ］の内容との関わり
（イ）声の［ k ］や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり
ウ　次の（ア）及び（イ）の技能を身に付けること。
（ア）創意工夫を生かした表現で歌うために必要な［ l ］、言葉の発音、［ m ］の使い方などの技能
（イ）創意工夫を生かし、全体の響きや各［ n ］の声などを聴きながら［ o ］と合わせて歌う技能

（１）［ a ］～［ o ］にあてはまる語句をA～Rから選び、記号で答えよ。

A　身体	B　歌詞	C　発声	D　曲想	E　背景	F　他者
G　楽しさ	H　面白さ	I　多様性	J　理解	K　音楽表現	L　創作表現
M　愛好	N　感性	O　声部	P　要素	Q　情操	R　音色

（２）下線部①について、中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説「音楽編」（以下「中学校指導要領解説」という）でどのように説明されているか、記せ。
（３）下線部②としている理由について、中学校指導要領解説ではどのように説明されているか、記せ。
（４）下線部③について、中学校指導要領解説ではどのように説明されているか、次の語の両方を用いて説明せよ。

イメージ　　試行錯誤

2025 kyosai-guild.jp

Ⅱ［高等学校学習指導要領に関する問題］

問1　次の文は、高等学校学習指導要領（平成30年告示）（以下、「高等学校指導要領」という）の一部である。後の（1）～（5）に答えよ。

「第2章 第7節 芸術 第2款 各科目 第1 音楽Ⅰ 2内容 A表現」

（1）歌唱

歌唱に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　歌唱表現に関わる知識や技能を①得たり生かしたりしながら、②自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫すること。

イ　次の（ア）から（ウ）までについて理解すること。

（ア）［a］と音楽の構造や［b］、文化的・歴史的背景との関わり

（イ）言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり

（ウ）様々な表現形態による歌唱表現の特徴

ウ　創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、次の（ア）から（ウ）までの技能を身に付けること。

（ア）曲にふさわしい［c］、言葉の発音、［d］の使い方などの技能

（イ）［e］との［f］を意識して歌う技能

（ウ）③表現形態の特徴を生かして歌う技能

「第2章 第7節 芸術 第2款 各科目 第1 音楽Ⅰ 2内容 B鑑賞」

（1）鑑賞

鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の（ア）から（ウ）までについて考え、④音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くこと。

（ア）曲や演奏に対する［g］とその［h］

（イ）自分や［i］にとっての音楽の意味や［j］

（ウ）音楽表現の共通性や［k］性

イ　次の（ア）から（ウ）までについて理解すること。

（ア）［a］や表現上の［l］と音楽の構造との関わり

（イ）音楽の［m］と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり

（ウ）我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴

（1）［a］～［m］にあてはまる語を次のA～Pから選び、記号で答えよ。

A　評価　　B　条件　　C　曲想　　D　調和　　E　特徴　　F　価値　　G　要素　　H　効果

I　他者　　J　発声　　K　社会　　L　固有　　M　身体　　N　歌詞　　O　根拠　　P　役割

（2）下線部①としている理由について、高等学校指導要領（平成30年告示）解説「芸術編」（以下、「高等学校指導要領解説」という）ではどのように説明されているか、記せ。

（3）下線部②について、高等学校指導要領解説ではどのように説明されているか、記せ。

（4）下線部③について、高等学校指導要領解説での「二重唱」の技能としてどのような具体例が示されているか、記せ。

（5）下線部④について、「自ら」としている理由について、高等学校指導要領解説ではどのように説明されているか、記せ。

2025 kyosai-guild.jp

第2問題　放送の音楽を聴き、次の問に答えよ。

問1　1曲目を聴き、次の（1）～（4）に答えよ。

（1）この曲名及び作曲者名を答えよ。

（2）この曲の第1楽章第1主題冒頭の動機部分2小節を記号も含め楽譜に記せ。

（3）この曲の第1楽章の第2主題の導入部分で使われる楽器名を答えよ。

（4）ソナタ形式について説明せよ。

問2　2曲目を聴き、次の（1）～（4）に答えよ。

（1）このアリアの曲は何というオペラに含まれる曲か、オペラ名及び作曲者名を答えよ。

（2）このアリアの曲名を答えよ。

（3）このオペラの物語の舞台になっている都市はどこか、答えよ。

（4）このオペラのヒロインの声種は何か、答えよ。

問3　3曲目を聴き、次の（1）～（3）に答えよ。

（1）この民族音楽のジャンルを答えよ。

（2）この音楽が伝わる国の国名を答えよ。

（3）次の文章は、この音楽を説明したものである。［ア］～［ウ］にあてはまる語を記せ。

> この国に伝わる［ア］製の打楽器を中心とした合奏で、［イ］劇や人形劇の音楽としても演奏されます。日本音楽と同じように、1オクターブの中に5つの音をもつさまざまな「［ウ］音階」が基本になっています。

問4　4曲目を聴き、次の（1）、（2）に答えよ。

（1）この曲名及び作曲者を答えよ。

（2）この曲のAの部分（2小節）の楽譜を記せ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

問5　5曲目を聴き、次の（1）～（4）に答えよ。

（1）この曲名を答えよ。

（2）この曲の初めに演奏する楽器名を答えよ。

（3）この曲を我が国の伝統音楽の特徴を学ぶための教材として扱う場合、音楽における働きと関わらせて理解するために、中学校及び高等学校指導要領の〔共通事項〕に示す「用語」からどの用語を取り上げるか、二つ選んで答えよ。

（4）「管弦」で使われる打物、弾物について、それぞれの楽器名を漢字または平仮名で一つずつ答えよ。

2025 kyosai-guild.jp

第3問題　次の文は、中学校指導要領、高等学校指導要領の一部である。後の問に答えよ。

中学校指導要領「第2章 第5節 音楽 第2 各学年の目標及び内容 第1学年 2内容 A表現」
（3）創作活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア　創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、①創作表現を創意工夫すること。

高等学校指導要領「第2章 第7節 芸術 第2款 各科目 第1 音楽Ⅰ 2内容 A表現」
（3）創作
創作に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア　創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって①創作表現を創意工夫すること。

中学校指導要領「第2章 第5節 音楽 第3 指導計画の作成と内容の取扱い」
2　第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。
（1）各学年の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、次のとおり取り扱うこと。
イ　音楽によって喚起された自己のイメージや感情、音楽表現に対する思いや意図、音楽に対する評価などを伝え合い共感するなど、［a］や音楽及び言葉による［b］を図り、音楽科の特質に応じた［c］を適切に位置付けられるよう指導を工夫すること。

高等学校指導要領解説「第2章 第7節 芸術 第2款 各科目 第1 音楽Ⅰ 3内容の取扱い」
（8）内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、思考力、判断力、表現力等の育成を図るため、［a］や音楽及び言葉による［b］を図り、芸術科音楽の特質に応じた［c］を適切に位置付けられるよう指導を工夫する。（後略）

問1　［a］～［c］にあてはまる語句を答えよ。

問2　上記A表現（3）創作のアの事項は、育成を目指す資質・能力である「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」のうち、いずれに関するものか、答えよ。

問3　創作表現で音を音楽へと構成するための原理を三つ答えよ。

問4　下線部①について、中学校指導要領解説、高等学校指導要領解説において、「他者と関わりながら学習を進めることが効果的な場合もある」と説明されている。指導の工夫と具体的な効果について、指導要領解説で示されている例を記せ。

2025 kyosai-guild.jp

第4問題　次の楽譜について、後の問に答えよ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

問1　この曲名を答えよ。

問2　この曲の作詞者が作詞した曲として正しいものをA～Dから一つ選び、記号で答えよ。

A　早春賦　　B　花の街　　C　赤とんぼ　　D　荒城の月

問3　［ア］にあてはまる歌詞を記せ。

問4　［イ］、［ウ］にあてはまる記号を記せ。

問5　［エ］にあてはまる楽譜を記せ。（音符のみでよい）

2025 kyosai-guild.jp

問6　この曲の指導の例としてふさわしくないものをA～Dより一つ選び、記号で答えよ。

A　母音の響かせ方や子音のニュアンスなどに注意し、日本語の語感を生かして歌う。

B　言葉と旋律の関わりや強弱記号などに注目し、曲の雰囲気に合うような表現を工夫する活動を取り入れる。

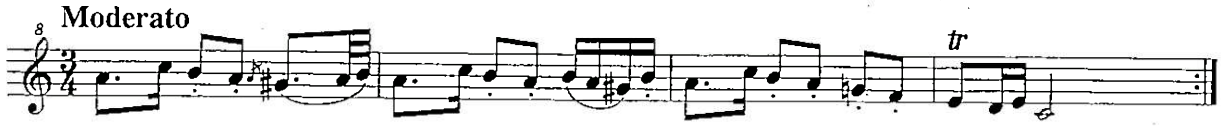
C　情景を思い浮かべながら歌えるよう、写真などの補助資料を活用する。

D　各旋律の音高やリズムなどを正しく歌えるような技能を習得してから、二部合唱に取り組むような授業の流れを工夫する。

問7　次は、授業中の会話の一部分である。この会話から、生徒が着目している音楽を形づくっている要素を四つ答えよ。

生徒Ⅰ　1段目と2段目は全く同じメロディーなのに、ピアノ伴奏に合わせて歌うと1段目はなだらかな感じがして、2段目は違った感じがするのだけど、なぜだろう。
生徒Ⅱ　そうだね。楽譜を見てみたら、ずいぶん違うね。

第5問題　次の問に答えよ。

問1　次の楽譜について、後の（1）～（4）に答えよ。

（1）作曲者名を答えよ。

（2）この作曲者が活躍した同時代に、日本で活躍した音楽家としてふさわしいものを次のA～Dから一つ選び、記号で答えよ。

A　観阿弥、世阿弥（能）　　B　宮城道雄（箏）　　C　竹本義太夫（文楽）　　D　中尾都山（尺八）

（3）アルトリコーダーで演奏する際、生徒から「高いドの音がかすれますが、どうしたらきれいに出せますか」という質問があった。簡潔に指導せよ。

（4）ト短調に書き換えよ。

問2　次の楽譜について、後の（1）～（3）に答えよ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

（1）Ⅰのパートをソプラノリコーダーで演奏する場合のア、イの運指を答えよ。

（2）Ⅱのパートをアルトリコーダーで演奏する場合のウ、エの運指を答えよ。

（3）［オ］～［キ］の和音をコードネームで答えよ。

2025 kyosai-guild.jp

第6問題　郷土の民謡と伝統芸能について、次の問に答えよ。

図1

問1　図1のような姿で踊る、島根県の伝統芸能がある。

その伝統芸能は、何という民謡に合わせて踊るか、その民謡名とその民謡で演奏される楽器を二つ答えよ。

問2　民謡の歌い方の特徴である装飾的な節回しで歌う歌唱法を何というか、答えよ。

問3　中学校指導要領解説、高等学校指導要領解説では、「言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり」を示している。次の（1）～（3）に答えよ。

（1）「言葉の特性」として挙げられているものを二つ答えよ。

（2）以下の［　　］に入る語を答えよ。

曲種に応じた発声とは、民謡、［　　］などの我が国の伝統的な歌唱を含む我が国や諸外国の様々な音楽の特徴を表現することができるような発声のことである。

（3）「言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり」を理解する学習の指導に当たって、どのような指導の工夫が必要か、説明せよ。

問4　島根県の民謡ではないものをA～Dから一つ選び、記号で答えよ。

A　貝殻節　　B　関の五本松　　C　しげさ節　　D　キンニャモニャ

2025 kyosai-guild.jp

第１問題

Ⅰ［中学校学習指導要領に関する問題］

問1	(1)	a	D（1点）	b	E（1点）	c	I（1点）
		d	J（1点）	e	K（1点）	f	G（1点）
		g	M（1点）	h	N（1点）	i	Q（1点）
		j	B（1点）	k	R（1点）	l	C（1点）
		m	A（1点）	n	O（1点）	o	F（1点）
	(2)	音楽科の学習が基盤となって生涯にわたって音楽に親しみ、そのことが人間的成長の一側面になるような態度（2点）					
	(3)	様々な表現を試しながら、新たな知識や技能を習得することと、既に習得している知識や技能を活用することの両方が大切になるため（2点）					
	(4)	曲に対する自分のイメージを膨らませたり他者のイメージに共感したりして、音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら、表したい歌唱表現について考え、どのように歌唱表現するかについて思いや意図をもつこと（2点）					

Ⅱ［高等学校学習指導要領に関する問題］

問1	(1)	a	C（1点）	b	N（1点）	c	J（1点）
		d	M（1点）	e	I（1点）	f	D（1点）
		g	A（1点）	h	O（1点）	i	K（1点）
		j	F（1点）	k	L（1点）	l	H（1点）
		m	E（1点）				
	(2)	様々な表現を試しながら、新たな知識や技能を習得することと、既に習得している知識や技能を活用することの両方が大切になるため（2点）					
	(3)	中学校音楽科での学習を基盤にしつつ、新たに習得した知識や技能、これまでの生活経験などを踏まえて、歌唱表現に対する自己のイメージを一層豊かにし、自分の意思をもって、表現意図を明確にしていく（2点）					
	(4)	互いの声の音色や響きを感じ取りながら音色や響きを近づけて歌う技能（2点）					
	(5)	卒業後も、生徒が主体的に音楽に関わり、音楽のよさや美しさを味わっていくことのできる資質・能力を育成できるようにすることを目指しているから（2点）					

2025 kyosai-guild.jp

音　楽

第２問題

問1	(1)	曲名	交響曲第５番　ハ短調（１点）	作曲者名	ベートーヴェン（１点）
	(2)				（２点）
	(3)	ホルン（１点）			
	(4)	提示部、展開部、再現部、コーダ（終結部）の４つのまとまりをもつ形式（２点）			
問2	(1)	オペラ名	カルメン（１点）	作曲者名	ビゼー（１点）
	(2)	闘牛士の歌（１点）			
	(3)	セビリア（１点）			
	(4)	メッゾ・ソプラノ（１点）			
問3	(1)	ガムラン（１点）			
	(2)	インドネシア（１点）			
	(3)	ア	金属（１点）	イ	舞踊（１点）	ウ	５音（１点）
問4	(1)	曲名	薄紫の山脈（１点）	作曲者名	古関　裕而（１点）
	(2)				（２点）
問5	(1)	平調　越天楽（１点）			
	(2)	竜笛（１点）			
	(3)	拍子（１点）		間（１点）	
	(4)	打物	鉦鼓（しょうこ）（１点）	弾物	琵琶（びわ）（１点）

2025 kyosai-guild.jp

第３問題

問1	a	音（1点）	b	コミュニケーション（1点）	c	言語活動（1点）
問2	思考力、判断力、表現力等（2点）					
問3	反復（1点）		変化（1点）		対照（1点）	
問4	つくっている音楽を表したいイメージに近づけていく過程で、互いの発想や見通しを伝え合ったり、つくっている音楽の構造とそこから生まれる特質や雰囲気との関わりについて確かめ合ったりすることで考えが深まる（2点）					

第４問題

問1	曲名	夏の思い出（1点）		
問2	B（1点）			
問3	ア	霧のなかに　うかびくる　やさしい影　野の小径（1点）		
問4	イ	pp （1点）	ウ	（1点）
問5	エ	（2点）		
問6	D（1点）			
問7	旋律（1点）	リズム（1点）	強弱（1点）	形式（1点）

2025 kyosai-guild.jp

第５問題

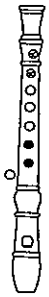
問１

(1)	J. S. バッハ（１点）
(2)	C（１点）
(3)	サミングで作るサムホールの隙間をさらに小さくしてみて、タンギングを「ｔｙｕ」や「ｔｉ」のようにして、スピードのある息を吹き込むようにする。（２点）
(4)	（４点）

問２

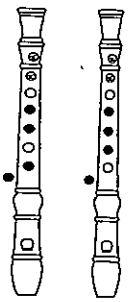
(1)

ア



（２点）

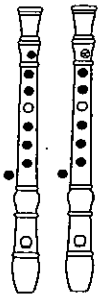
イ



（２点）

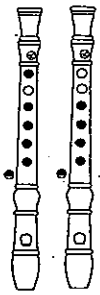
(2)

ウ



（２点）

エ



（２点）

(3)

オ	Dm７（１点）	カ	B♭（１点）	キ	C７（１点）

2025 kyosai-guild.jp

第６問題

問1	民謡名	安来節（１点）	
	演奏される楽器	三味線（１点）	太鼓（１点）
問2	コブシ（１点）		
問3	(1)	言葉の抑揚（１点）	アクセント（１点）
	(2)	長唄（１点）	
	(3)	言葉の抑揚と旋律との関係に着目して郷土に伝わる民謡を聴き、その民謡の特徴を表すための言葉の発音、節回しなどを歌い試しながら、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを捉えていくことができるような指導（３点）	
問4	A（１点）		

2025 kyosai-guild.jp